

鈴木道場と鈴木杯少年大会

中濃柔道協会会長 立川 雅俊

私の 50 有余年の柔道経歴の中で、普及の意識で柔道活動を行った記憶はあまりありませんが、結果的に普及につながったであろうことを述べさせていただきます。

私は関高校入学と同時に顧問の古賀悟先生の勧めもあり柔道部に入部いたしました。初め 1 年生の入部は十数人いましたが 3 年まで続いたのは 7 人でした。この 7 人は大変厳しい稽古に耐えた同志として今でも大変仲良くお付き合いをしております。

関高校柔道部は故鈴木輝雄先生が関高赴任と同時に作られたもので、鈴木先生はその後旧関市役所隣に地元の柔道普及及び青少年の育成のため鈴木道場を開かれ、私が柔道を始めた頃は鈴木先生の教え子達が指導者として運営しておりました。その為か関高柔道部員は同時に鈴木道場入門者の扱いで、特に私は関高校近くに住んでおりましたため当時土曜日の担当指導者の古賀先生と一緒にいき、先生が子供たちに柔道指導するお手伝いをしておりました。その後大学卒業後、道場の主たる指導者で高校の先輩でもある武藤晃嗣先生に招かれて正式に鈴木道場指導者として小中学生の柔道指導を始めました。以来 40 数年少年柔道に携わってまいりましたが今は若い指導者に任せております。高校時代の練習は毎日長時間で大変苦しく厳しいものでしたが、この三年間で精神的にも技術的にも随分成長できたと思います。そんな中で育った為か指導者になっても子供たちに対して威圧的に接したことも多かったのではないかと思います。今の若い指導者

は大変優しく上手に指導しており、私の指導のやり方を反省することも多くあります。

同じく中濃柔道協会主催の鈴木杯少年柔道大会も地元の青少年の健全育成と柔道の普及発展を願い鈴木先生とその教え子たちが始めたものです。鈴木道場の指導者になった時と同時期に伊藤誠剛先生等の推薦で中濃柔道協会に入れていただいた私は、鈴木杯開催にも携わるようになりました。初めの頃は中濃地区中心に県内の道場や柔道スポーツ少年団に声をかけ主に可児市の錬成館をお借りして行っておりましたが、近年は東海地区や関西・北陸など県外からも多数参加いただくようになり、参加チームが多く会場も手狭になったため、現在は関市総合体育館のメインアリーナに畳を運んで行っております。一昨年 50 回記念大会を行うことができ歴史ある大会となりましたこと大変ありがたく思っております。

関高校で柔道を始めたことにより歴史ある鈴木道場や鈴木杯柔道大会に携わることができ、結果的ではありますが鈴木輝雄先生の御意思を引き継ぐことができましたこと大変うれしく思っております。今後は次世代の道場指導者や協会役員が引き続き新たな歴史をつくりつつ、どちらも連綿と続いていくことを心より願っております。